一般社団法人Breakthrough Bank（ブレイクスルーバンク、本部名古屋市瑞穂区洲雲町3の26、北森勝也代表理事、電話052・875・8171）はこのほど、全国の民間企業などを対象に、災害支援用の長期保存パンを備蓄する「Helpan（ヘルパン）171・災害支援パンク」事業を立ち上げた。多発する自然災害への備えが不可欠とし、パンを保管するパートナーを全国で募集。企業やNPO法人など約170団体が登録し、急ピッチで輪が広がっている。

（吉川英司）

一般社団法人 Breakthrough Bank

災害支援食糧バンク設立

保存パン備蓄・保管 全国でパートナー募集

備蓄用ケースを持つ北森代表理事

備蓄するパンとパートナーに配布する玄関ステッカー

「ヘルパン」のネーミングは英語の「ヘルプ（help）」と「パン」の造語。「171」は防災ダイヤルからとった。備蓄するパンは、横江正己副理事が経営するヨコエ（本社愛知県蟹江町）が北海道江差町の就労継続事業B型支援所・社会福祉法人江差福祉会「あすなろパン」に製造委託する「e－パン」。真空パックで5年間の長期保存が可能。横江氏は「柔らかさを保ち、開封後すぐに食べられる。普段のおやつにもできるおいしさが特徴」と胸を張る。

通常は、家庭備蓄用の2個入り缶詰（500円・税別、自治体備蓄用の50個入りケース（1万2500円・同）を手掛けている。ヘルパン用は、e－パンの3種類の味のうち、アレルギー対策商品「キャラメルチョコ味（卵不使用）」。「手ごろな価格で保管先を広げたい」として、1万円（1口40個入りケース）に設定した。

パートナーには、備蓄数に応じて色分けした玄関表示用ステッカーを配布。1～4口（パン40～160個）を薄緑色、5～9口（200～360個）を濃緑色、10口（400個）以上をえんじ色とし、被災者がパンの備蓄数をわかりやすく確認できるようにする。パートナー名や所在地は、同事業ホームページにも記載する。

大規模な災害発生時には、被災地以外のパートナーからパンを集め、被災地支援物資として送る仕組みを考案中。賞味期限が近付いたパンを回収して、子ども食堂のおやつ用に寄付することも計画している。

北森氏は「1年あたり2千円という手軽な金額で災害支援を始められる」とアピールする。現在のパートナーは愛知県内が大半。同県内に108カ所あり、ドラッグストア、新聞店、飲食店、ガソリンスタンドなど多岐にわたるが、「全国各地に広げたい」と支援の拡大に力を入れていく方針を示している。

ベンチャーオフィスをサポート

開設 支援サイト CBCビップスなど共同開発

「オフィスバコ」のホームページ画面

中部日本放送グループでオフィス関連ソリューションのCBCビップス（本社名古屋市中区新栄1の2の8、水野弘之社長、電話052・225・1057・5）はリノベーション・注文住宅のSUVACO（東京）、コニカミノルタジャパンと共同で、中小企業・ベンチャー企業向けのオフィスづくり支援サイトを開設した。首都圏と東海地区を重点エリアに、「成長投資としてのオフィスづくり」を掲げ、経営課題を解決するオフィス開発を提案していく。

サイト名は「Suvaco（オフィスバコ）」。3社の働きやすいオフィスづくりのノウハウを生かし、中小・ベンチャー企業の課題である「ビジョン共有」、「社内コミュニケーション改善」、「創造力の発揮」、「業務効率化」、「採用強化」、「従業員定着」などの解決を図る。

オフィスデザイン、内装工事、IOT設計、文書管理まで、専門アドバイザーによるトータルサポートを手掛ける。

問い合わせはオフィスバコ（電話0120・976・358、https://offi-suvaco.jp）まで。

中部経済新聞
2019年（令和元年）5月16日 木曜日
発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区名駅4-4-10
編集局 052(561)5212
読者開発局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2019
購読のお申し込み 0120・605・123

株式会社 浦野
「省エネ」は建物から。
今だからこそ、環境に配慮
施設づくりをご提案します
http://www.urano-s.
名古屋本社 名古屋市西区八筋町90番 TEL.0